

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版
 明治国際医療大学 医学部新校舎施設整備計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.5)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.8	
Q1 室内環境					0.40		-	2.8	
1 音環境				2.6	0.15		-	2.6	
1.1 室内騒音レベル		---		3.0	0.40		-		
1.2 遮音		---		3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能		---		3.0	0.30		-		
2 界壁遮音性能		---		3.0	0.30		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		---		3.0	0.20		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		---		3.0	0.20		-		
1.3 吸音		---		1.0	0.20		-		
2 温熱環境				2.8	0.35		-	2.8	
2.1 室温制御				3.4	0.50		-		
1 室温		---		3.0	0.60		-		
2 外皮性能		窓システムSC:0.28、U=3.10(W/m ² K) 程度、外壁・その他:U=0.37(W/m ² K)		4.0	0.40		-		
3 ゾーン別制御性		---			-		-		
2.2 湿度制御		---		1.0	0.20		-		
2.3 空調方式		---		3.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.3	0.25		-	2.3	
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-		
1 昼光率		---		1.0	0.60		-		
2 方位別開口		---			-		-		
3 昼光利用設備		---		3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				2.0	0.30		-		
1 昼光制御		---		2.0	1.00		-		
3.3 照度		---		3.0	0.15		-		
3.4 照明制御		---		3.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.5	0.25		-	3.5	
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。		4.0	1.00		-		
4.2 換気				1.6	0.30		-		
1 換気量		---		1.0	0.33		-		
2 自然換気性能		---		1.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮		---		3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視		---		-	-		-		
2 喫煙の制御		ビル全体の禁煙が確認されている。		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能					0.30		-	3.3	
1 機能性				3.0	0.40		-	3.0	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性		---			-		-		
2 高度情報通信設備対応		---			-		-		
3 バリアフリー計画		---		3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-		
1 広さ感・景観		---		1.0	0.50		-		
2 リフレッシュスペース		---			-		-		
3 内装計画		建物全体のコンセプトが明確にあり、内装計画の段階で、コンセプトを反映するための取り組みが具体的にされている。		5.0	0.50		-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		---		3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		---		3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-	2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		---		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		---		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		---		3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		---		2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		---		3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		---		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		---		3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		---		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.8	0.20		-		
1 空調・換気設備		---		3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		---		3.0	0.20		-		
3 電気設備		---		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		---		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		---		2.0	0.20		-		

3	対応性・更新性		4.2	0.30	-	-	4.2
3.1	空間のゆとり		4.6	0.30	-	-	
1	1 階高のゆとり	階高3.9m以上。	5.0	0.60	-	-	
2	2 空間の形状・自由さ	0.1≦[壁長さ比率]<0.3。	4.0	0.40	-	-	
3.2	3.2 荷重のゆとり	床荷重:8900N/m ²	5.0	0.30	3.0	-	
3.3	3.3 設備の更新性		3.4	0.40	-	-	
1	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
2	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
3	3 電気配線の更新性	ケーブルラックを利用しているため構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる。	5.0	0.10	-	-	
4	4 通信配線の更新性	配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10	-	-	
5	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
6	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.2
1	1 生物環境の保全と創出	-	1.0	0.30	-	-	1.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	2.0	0.50	-	-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2
LR1	LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.3
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m = 0.49	5.0	0.20	-	-	5.0
2	2 自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	3 設備システムの高効率化	-	2.8	0.50	-	-	2.8
	集合住宅以外の評価	-	2.8	1.00	-	-	
	集合住宅の評価	-	-	-	-	-	
4	4 効率的運用	-	3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価	-	3.0	1.00	-	-	
4.1	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価	-	-	-	-	-	
4.1	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
4.2	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
LR2	LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.3
1	1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	1.1 節水	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40	-	-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	-	
1	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
2	2 非再生性資源の使用量削減	-	3.4	0.60	-	-	3.4
2.1	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.10	-	-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:ビニル系床材、天井:ボード、屋根:断熱材	5.0	0.20	-	-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	2.0	0.10	-	-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS使用している。	4.0	0.20	-	-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避	-	3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避	-	3.5	0.70	-	-	
1	1 消火剤	-	-	-	-	-	
2	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
3	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.1
1	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO ₂ 排出率77%。	3.9	0.33	-	-	3.9
2	2 地域環境への配慮	-	2.3	0.33	-	-	2.3
2.1	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制	-	2.5	0.25	-	-	
1	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
2	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
3	3 交通負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	3 周辺環境への配慮	-	3.2	0.33	-	-	3.2
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止	-	3.0	0.40	-	-	
1	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
2	2 振動	-	-	-	-	-	
3	3 悪臭	-	-	-	-	-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	-	3.0	0.40	-	-	
1	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
2	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
3	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
3.3	3.3 光害の抑制	-	4.4	0.20	-	-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの項目の過半を満たす。また、広告物照明は行っていない。	5.0	0.70	-	-	
2	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版

明治国際医療大学 農学部新校舎施設整備計画

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	4.0	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	6.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 経排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0	-	1.0	-	-	3.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.3	窓の日射熱取得率(η)	0.2
U値(W/m ² K)		窓システム	3.1
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	ηAC -
屋根	0.3	外壁	0.4
床	2.7	ηAH -	
昼光率	0.0%		
自然換気有効開口面積率	0.0%		

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収容性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡					
天井高	0 m					
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	4.004 m					
壁長さ比率	20.0%					
床荷重	3900 N/m ²					

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数	0%	建物緑化指数	0%
空地率	65%	水平投影面積率	0%
地表面対策面積率	0%	舗装面積率	65%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI _{lm}	0.49	断熱等性能等級	対象外 相当
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%
		採光を満たす住戸数	0.0%
		通風を満たす教室数	0.0%
		通風を満たす住戸数	0.0%
		太陽光	.0kW
		太陽熱	.0kW
		蓄電池	.0kW
BEI/BEI _{lm}	再エネ省	0.63	無
一次エネルギー削減率	再エネ有	無	

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率	0.0%		
特定調達品目	ビニル系床材、部	エコマーク商品	ボード
使用比率	0.0%	自治体指定の特定品目等	-
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	241%	隣接間隔指標Rw	0.90
地表面対策面積率	0.0%	屋根面対策面積率	0.0%
外壁面対策面積率	0.0%	基礎高さHb	16.63 m
見付面積Sb	3.029㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	75.58 m
緑地	㎡	水面	㎡
保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡
再帰性反射対策面	㎡		